

犯罪に巻き込まれたとき、何が起きるのか

犯罪は、ある日突然、何の予告もなく起こります。被害を受けた人（被害者本人だけでなく、その家族や遺族も含みます）の生活は、その瞬間から大きく変わってしまいます。被害者は身体的なダメージだけでなく、強いショックや恐怖など心への深い傷も負います。

さらに、生活そのものが大きく乱れます。警察の事情聴取や裁判への対応、医療機関への通院などが重なり、仕事や学校に行けなくなることもあります。働くことが困難になると収入が減る一方、医療費や交通費など想定外の費用がかかり、経済的な打撃につながります。国には犯罪被害者等給付金という支援制度がありますが、支給までに相当の時間がかかるのが現状です。

加えて、周囲の心ない言葉やSNSでの誹謗中傷など、身近な人から更に傷つけられることがあります（「二次被害」といいます）。悪意がなくても、周囲にいる誰かの、何気ない一言が被害者を深く傷つけることがあります。

回復には、長い時間がかかります

被害直後の対応から、裁判中のサポート、その後の生活再建まで、平穏な暮らしを取り戻すには長い時間がかかります。「被害直後だけ支援すればいい」というわけではなく、状況の変化に寄り添いながら、継続的に支えていくことが必要です。

周囲の理解が力になります

被害者が毎日生活するのは、地域・職場・学校です。警察・弁護士・医療機関・行政などの関係機関だけでは、被害者やその家族のすべてを支えることはできません。被害者を責めない・詮索しない・噂を広げないという市民一人ひとりの姿勢が、被害者にとって大きな支えになります。

条例（素案）にご意見をお寄せください

市・関係機関・事業者・市民がそれぞれの役割を理解し、同じ方向を向いて支えるため、支援の根拠となる本条例について、警察・医療・法律・福祉の専門家等と行政が一緒になって検討を重ねてきました。

犯罪被害に巻き込まれても、安心して暮らし続けられる北上市をつくるため、「北上市犯罪被害者等支援条例（素案）」に対し、皆様の貴重なご意見をお寄せください。